

紙智子さんと共産党について語るつどい

多喜二の母セキさんの決意

5月25日、紙智子参議院議員と共産党を語る集いが行われました。皆さんの質問に一つずつ丁寧に答えた紙さん。最後に村上かずしげ市議が、「亡くなった紙さんのお連れ合いさんと小林多喜二の母、セキさんのことを聞かせていただませんか」と水を向けました。

紙さんと内山さん

紙さんとお連れ合いの方の出会いは、紙さんが旧北海道4区の候補者となった時でした。政策秘書として付いたのが、のちに夫となる内山勝人さん。内山さんと一緒に地域を回ると、「あらー、内山さん来てくれたの」「政治のことをわかりやすく面白く話してくれるから内山さん大好き」と、どこ



でも大歓迎されまし
た。そんなこ
ともあつて
「いいな」と
意識し

始めた紙さん。二人はやがて結婚へ。内山さんが他界したのは12年前のことでした。

小林セキさんのこと

そんな内山さんが、紙さんも知らなかった小林セキさんとのことを話し始めました。

内山さんは18歳のころ小樽に住んでいました。小樽は小林多喜二のゆかりの地、そして母、セキさんも暮らしていました。セキさんに話を聞きたいと訪ねた内山さん。でも、特高に多喜二がつかまってひどいことされたことは、セキさんから聞くことはありませんでした。

二度目の訪問、今度はセキさんに入党を勧めるための訪問でした。セキさんは「こんな年寄り、



入ったってなんもできないわ」と断ります。

そして三度目。「ぜひやっぱり入ってほしくて」と切り出すと、「私が入ることで若い人、元気になるかい?」と聞き、「そうか」と言っ

て再び現れたセキさんは羽織をつけ身だしなみを整え、板を下敷きに「小林セキ」と入党申込書に書き始めます。そのとき、「あんちゃんなんて言うべか」とぼつり。セキさんが亡くなったのは入党した翌年のことでした。

多喜二に手紙を書きたい

セキさんの遺品を整理していた多喜二のお姉さんが見つけたのは、多喜二に手紙を書きたい一心

紙さんはセキさんの話以外に

- 1、裏金問題の本質は何?
- 2、中国、北朝鮮、外交で平和を守れるの?
- 3、連合会長はなぜ共闘攻撃をするの?
- 4、酪農をどう守るか?
- 5、共産党は党名で損してない?
- 6、共産党に入ること
- 7、資本主義の次の社会は?
- 8、田村委員長はこんな人

という質問に答えました。



紙さんの質問コーナーはこちらの動画でご覧になれます

で、字の練習をした紙の束でした。あまり字も書けなかったセキさん。その中にこんな文章がありました。

あー、またいやな二月(多喜二が虐殺された月)が来た。涙が流れる。でもラジオが流れていると、少し気もまぎれて助かる・・・。

こんな思いをずっと秘めて生きてきたセキさん。「多喜二は何も悪いことをしていない」と信じ続けて、その思いを自分もと・・・セキさんの決意。